

## 沖縄協同病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。なお、その際に不利益は一切ございません。

研究課題名	【研究名】小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多機関調査(2024年度) (日本小児アレルギー学会疫学委員会主導の多機関共同調査研究)
本研究の研究責任者(所属)	氏名 尾辻健太 所属 沖縄協同病院 小児科
他の研究機関および各施設の研究責任者	機関名 埼玉医科大学病院 小児科 責任者 板澤 寿子 滋賀県立小児保健医療センター(楠 隆),昭和大学病院(今井孝成) 国立病院機構三重病院(長尾みづほ),大阪府済生会中津病院(平口雪子) あいち小児保健医療総合センター(松井照明),獨協医科大学病院(宮本学) 国際医療福祉大学成田病院(山出史也) 国立成育医療研究センター(山本貴和子) 東京都立小児総合医療センター(吉田幸一)
本研究の目的	【目的】日本小児アレルギー学会疫学委員会では、喘息重症度分布経年推移及び喘息死についての調査を行い、その成果は小児気管支喘息治療・管理ガイドラインの作成に反映されている。日本の喘息死は小児、成人ともに減少傾向にあり、喘息死亡率も減少しており、国際間比較においても日本の5-34歳の喘息死亡率は非常に低値である。しかし、6-11歳の喘息のコントロール状態においては、医療機関を介さないオンラインアンケート調査では十分なコントロールを得られていない事が報告されている。 前回の2020年度の調査においても、コントロール状態が十分でない患者が少なく、真の重症度の低減化も認められなかった。今回の2024年の調査により重症度や治療の変遷の推移を把握し、今後も継続していくことで、寛解、重症化の予防に向けた疫学調査を治療・管理に関するエビデンスの構築のために重要な役割を果たすと考えられる。
調査データ該当期間	2024年10月28日～2024年11月3日
総研究期間	承認日～2025年10月31日
研究の方法(使用する試料等)	【対象となる方】 調査期間中に研究実施施設の当該科外来(救急受診、オンライン診療、電話診療を含む)及び、入院中の気管支喘息患児 【利用する情報】 施設の属性(診療所・病院)、診療科内のアレルギー専門医の有無、症例番号(各医療機関で独自に記入、個人情報記入無し)、年齢、外来・入院別、性別、症状のみによる重症度(見かけ上の重症度)、治療ステップ、長期管理薬(過去1ヶ月の吸入ステロイド、過去1ヶ月のロイコトリエン受容体拮抗薬、過去1ヶ月のテオフィリン経口投与、過去1ヶ月の長時間作用型β2刺激薬、過去1ヶ月間のDCSG吸入、経口ステロイド投与、過去1ヶ月の生物学的製剤の使用状況、その他の喘息治療内容)、過去12ヶ月間における急性発作のステロイド投与の有無、SARS-CoV-2の感染の有無と重症度。
試料/情報の他研究機関への提供および提供方法	本研究は将来の臨床試験実施において研究計画作成や症例集積性の予測などに活用する予定ですが、この研究のために収集したデータは、調査研究以外の目的で使用されることはございません。

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>利用する情報は、個人情報とは関係のない符合・番号を付して匿名化し、符合・番号と個人との対応表は病院で保管いたします。また、研究成果は学会での発表並びに学術雑誌への論文投稿を予定しておりますが、その際も個人および病院が特定されないことがないよう配慮いたします。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>調査用紙の印刷、郵送、データ入力作業に関する費用は、日本小児アレルギー学会より支出される。</p>
<p>院内問い合わせ先</p>	<p>沖縄協同病院 倫理委員 電話: 098-853-1200(代表) Mail: info@oki-kyo01.jp</p>
<p>本研究に関する お問い合わせ先</p>	<p><u>日本小児アレルギー学会 事務局</u> 電話: 03-6806-0203</p>